

平成30年度 第2回宝達志水町文化財保護審議会 会議録

日 時：平成31年 2月20日（水） 午後 3時 ～
場 所：宝達志水町生涯学習センターさくらドーム 21
2階 セミナー室

出席者

委 員 出倉会長、山岸委員、大窪委員、秋田委員、末森委員、金山委員
事務局 山岸教育長、村井室長、竹森主事

1 開 会

2 教育長あいさつ

3 会長あいさつ

4 平成30年度文化財保護事業報告について

（1）国指定文化財関係

・喜多家について

近年、自然災害の影響で入館者数が落ち込んでいたが、徐々に回復しつつある。旅行業者のツアーの中に組んでいただいたことで、団体の利用が増加した。

台風、大雨により、倒木や雨戸がはずれる等の被害があった。1月までには、樹木の伐採、雨戸の修繕が完了している。

・散田金谷古墳について

散田天神社の金山先生に、文化財保護指導員として年4回文化財パトロールを行っていただいている。墳丘の草刈りは、地域整備課に依頼した。除草剤の散布は文化財室で実施した。年々墳丘にはられている芝生が少なくなっており、数年以内には芝生のはりかえを行う必要がある。

（2）県指定文化財関係

・岡部家について

納屋屋根の修繕を7月～10月に実施した。台風により竹垣が倒れる被害があり、1月に竹垣を新設した。地域学習として、いしかわ県民大学校の講座や、羽咋市立瑞穂小学校の社会科見学で、岡部家を利用していただいた。2月28日には、樋川小学校が見学を訪れる予定である。

- ・末森城跡、御館館跡について

末森城跡、御館館跡とも年2回の草刈りを実施した。

末森城跡については、駐車場周辺の竹林の伐採作業を実施した。今年度中に作業道の登り口と三の丸周辺の雑木の整理を実施する。来年度は、本丸と二の丸周辺の環境整備を実施する予定である。大雨により作業道の一部が崩落した。徒歩や軽トラであれば通行できる状態である。第2駐車場に設置しているパンフレットについて、1月現在で約600部の利用があった。

- ・ゼンショウジキクザクラについて

昨年度は、県央農林事務所の千木先生【樹木医】に現地指導を受けた。千木先生は再任用職員であるため、来年度も引き続き指導いただけるかどうか確認する必要がある。

- ・妙法輪寺のナンテンについて

本堂の建替え工事が予定されている。工事中のナンテンの保護について、県に指導を受けたうえで対応したい。

(3) 町指定文化財関係

- ・白ヶ峰往来について

台風、大雨で木が倒れ道をふさぐ被害があり、伐採や枝の片付けを実施した。

石仏～入道原の道路沿いにある歌碑については、氷見市や羽咋市の団体が設置したもので、歌碑の内容は、団体の会員が万葉集や大伴家持を偲んで詠んだ歌が刻まれているものがほとんどである。所司原地区が、団体から委託を受け草刈りを行ってきたが、高齢化で草刈り作業が難しくなってきたため、行政で受けてもらえないかと相談がある。個人の所有物に行政が介入することはできないため、今までどおり団体と所司原地区で管理してもらえればと考えている。

- ・町指定に向けた「村御印」の所在調査について

アンケート用紙を全区長あてに配布した。2月20日現在34地区から回答があり、そのうち、7地区について村御印を所有しているとの回答を得た。来年度は、了承を得られた区について、写真撮影と町指定の手続きを進めていきたい。

(4) 地域学習関係

公民館事業について、ディスカバリーウォークで、小川、宝達、聖川地内を案内した。また、埋蔵文化財センター内で県の考古学出前講座を実施した。

学校から依頼で末森城跡を案内した。樋川小学校、相見小学校、宝達小学校は末森委員に案内していただき、第一小学校は村井室長が案内した。

(5) 埋蔵文化財センターについて

平成29年11月より一般公開しているが、雨漏りや床面の腐食が生じていることから、設改修に向けて国庫補助を申請している。平成31年度に改修工事を実施し、施設整備と展示室の充実を図る。また、昨年度に引き続き、故「村井一郎」先生の収集遺物の整理作業をしている。数年間に亡くなられた金田庄二先生が考古資料を保管しており、ご遺族の方に寄贈していただけるか話をしている。

・埋蔵文化財包蔵地の照会について

平成31年2月時点で、16件の照会があった。内訳は、住宅建築7件、太陽光発電3件、不動産鑑定2件、携帯電話アンテナ設置2件、商業地2件である。

(6) その他

能登立国1300年の年にあわせ、平成30年10月に「のと里山里海ミュージアム」が七尾市にオープンした。エントランスホールに能登半島の市町の紹介と特産品が紹介されており、宝達志水町は、宝達葛・花火のレプリカ、喜多家の写真を展示している。

5 町文化財保護審議会委員の改選について

任期は、平成31年4月1日～平成33年3月31日。委員に再任を依頼。平成31年度1回目の文化財保護審議会で会長・副会長を選任する。

6 平成31年度能登文化財保護連絡協議会総会について

開催地は志賀町。総会は例年とおおり9月下旬～10月初旬を予定。

来年度の「能登の文化財」第53輯の原稿については、これまでどおり自由テーマで、執筆者は事務局より依頼する。

7 質疑応答、意見交換

事務局 今年度は、自然災害による文化財の被害件数が多かった。事務局で見回りを行っているが、委員の方々におかれましても文化財について何か気づいた点があれば、ご報告していただければ幸いです。また、以前、末森委員より指摘のあった喜多家のトイレについて、来年度に洋式トイレに改修する予定です。また、台風被害に関連して、地域整備課より原御前に至る道路が寸断したとの報告がありました。

末森委員 今年、地域学習で4校の小学生を末森城跡に案内した。道が崩れている箇所や、イノシシが地面を掘り返して本丸、二の丸の平坦面がボコボコになっているのを確認した。本丸で末森合戦の説明をするとき、町が設置した説明看板が古くなって読みづらくなっているのが気になった。（説明看板は平成3年に設置）本丸からの見晴らしがよくないことも気になった。パンフレットが600部出ているということは、山城ブームで人の出入りがあるということ。史跡整備は費

用面で難しいところがあると思うが、来訪者のために見晴らしの確保と説明看板の設置など、できる範囲で整備を行ってほしい。また、子ども達の中で、末森合戦のことを初めて聞いた子や、末森城跡に初めて登った子がいたので、郷土の歴史を学ぶ、ふるさと学習は大事なことだと末森城跡を案内しているときに感じた。

出倉会長 末森城跡は、加賀・能登の要で、大変重要な城。地形的にも面白いところでもある。今後とも、子ども達を対象としたふるさと学習を続けてほしい。

教育長 現在、学校教育課で、小中学校配布用に末森合戦の概要をまとめたパンフレットを作成しています。校正の途中ですが、委員の皆様にお見せします。（パンフレット案を委員に回覧した。）

事務局 説明看板は、平成31年度に企画振興課で看板設置の予算を計上していると聞いています。眺望については、今年度末森城跡の登り口と三の丸付近の堅堀周辺の樹木の枝打ちと、雑木の伐採を実施する予定です。1月に末森城跡の地権者をお願いに行ったところ、樹木は伐らないでほしいとのことでした。雑木の伐採、枝打ち、下草刈りは了承いただいています。

出倉会長 できる範囲で眺望をよくする環境整備を行ってほしい。

秋田委員 末森城の復元図はあるのか。

事務局 測量図を基に作成した鳥瞰図はあります。城の建物については、当時の図面がないため復元することはできません。ちなみに、末森城の本丸主門については、金沢城鶴ノ丸の南門として移築されています。本丸も津幡町に移築され、加賀藩主の宿泊や休憩の施設として利用されたことが記録に残っていますが、絵図面は今のところ見つかっていません。建造物の復元は難しいですが、地権者の許可を得た上で、樹木整理等できる範囲で景観整備を行っていただければと考えています。

末森委員 子ども向けのパンフレットに、奥村側の軍勢500人と書いてある。文献では500～1500人とされているが、500人でいいのか。

事務局 軍勢の人数は、文献によって幅があります。文献や研究者の研究成果を見ると、「500人」の記述が多かったため、パンフレットに記載する人数に採用しました。

秋田委員 パンフレットは学校でどのように使用するのか。

教育長 パンフレットは、町内の小学校4年生から中学3年生に配布します。地域学習

の場で教材として利用します。

秋田委員 地域学習の中で、末森城跡以外に取り上げているものはあるのか。

教育長 各学校で地域学習のテーマを決めて学習しています。文化財保護審議委員の方には、学校から講師の依頼があるかもしれませんが、その際にご協力いただければ幸いです。

大窪委員 村御印の所在調査で、回答していない区はいくつあるのか。

事務局 まだ18地区で回答をいただいております。回答をいただいた地区の中で、調査の了承を得られた村御印について、写真撮影及び指定に向けた手続きを実施していく予定です。

8 閉会あいさつ（会長）